

イトマンオープン 2023 / 東京都ジュニア長水路水泳競技大会

第1部・第2部 追加要項

1 競技について

- (1) 本競技会は、(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝とも10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 200m以下の種目は予選とA決勝・B決勝・C決勝を行う。
- (4) 400m以上の種目はタイムレース決勝とし、13歳以上の年齢区分で行う。
- (5) 予選は12歳以下、13歳以上の年齢区分で行う。
- (6) A決勝・B決勝・C決勝は男女ともに9～10歳・11～12歳・13～14歳・15～16歳・17～18歳の年齢区分に分けて行う。
- (7) 決勝は、予選の結果上位10名が出場できる。なお、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (8) B決勝は、決勝進出者を除く予選上位10名を対象とする。なお、棄権者または決勝への繰り上げ出場者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (9) C決勝は、A決勝進出者およびB決勝進出者を除く予選上位10名を対象とする。棄権者またはB決勝への繰り上げ出場者が出た場合の補欠は2名とし、上位より順次出場権を与える。
- (10) 決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、抽選にて決勝進出者を決定する。
なお、15分以内に該当選手または所属責任者が現れない場合は、抽選の権利を失う。抽選の権利を失った選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (11) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のために、招集所にはADカードを持参すること。招集所受付で水着の確認を行う。
- (12) 予選を棄権する場合は、実施当日の8時30分までにコンピュータールームに棄権届出用紙を提出すること。時間までに棄権届出用紙の提出がない場合は1種目あたり棄権料3,000円を徴収する。
- (13) 決勝およびB・C決勝の棄権はできない。やむなく棄権する場合は、該当予選競技終了後20分以内にリブリーションに1種目につき棄権料3,000円を添えて決勝棄権届出用紙を提出すること。指定時間までに決勝棄権届出用紙を提出しなかった場合は無断棄権とみなす。
- (14) すべての競技において無断で棄権した場合は、棄権料とは別に1種目につき3,000円の罰金を徴収する。
- (15) 棄権料・罰金に関して、当該選手が所属する団体は連帯してその責務を負う。
- (16) 予選競技用・決勝競技用棄権届出用紙は(公財)東京都水泳協会のホームページから各自でダウンロードし記載すること。
- (17) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。50m種目、背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに自レーンより退水すること。決勝は横退水とする。ただし、競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。
- (18) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (19) 800m・1500m自由形における周回通知は、折り返し側に周回板を提示し、コールは行わない。
- (20) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (21) 予選は組のみの紹介、A決勝・B決勝・C決勝は各レーンで紹介を行う。
- (22) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (23) 本大会はADコントロールを行うので、常にADカードを携帯すること。
- (24) 会場動線・レイアウト等は、追加要項や(公財)東京都水泳協会のホームページから各自で確認すること。

2 表彰について

- (1) 決勝競技終了後、各種目 1 位～3 位までの者にメダルと賞状を授与する。4 位～8 位までの者には選手・コーチ出入口付近にて賞状を置いておくので各自で持って行くこと。
(B 決勝・C 決勝は除く)
- (2) 最も活躍した選手に最優秀選手賞（男女各 1 名）を授与する。
ただし、最終日(5/14)の最優秀選手表彰式に出席できない選手は選考対象外とする。
- (3) 各区分で活躍した選手に優秀選手賞（年齢区分別・男女別各 1 名）を下記の日程で授与する。
12 歳以下の優秀選手賞は 5/ 7（日）第 1 部全競技終了後
13 歳以上の優秀選手賞は 5/14（日）第 2 部全競技終了後
- (3) 最終日(5/14)の第二部全競技終了後に最優秀選手表彰式を行う。

3 登録団体用健康確認票（兼誓約書）について

- (1) 登録団体用健康確認票兼誓約書（様式 T-05）は、各団体にてホームページよりダウンロードして持参すること。
- (2) 団体責任者は所属選手全員の健康状態を確認し、登録団体用健康確認票(兼誓約書)を 9 時までに 2 階選手・コーチ出入口にて会場係に提出すること。（大会期間中 1 日につき 1 枚）
- (3) 登録団体用健康確認票(兼誓約書)の提出が確認できない団体の出場は認めない。

4 ADカードについて

- (1) ADカードは各団体にてホームページよりダウンロードして団体の承認印を押印の上、出場選手およびチームスタッフに配布すること。（A4 サイズでプリントして 4 分割する。プリントはモノクロでも可・・・カラーが望ましい）
- (2) 選手ADは大会期間中選手 1 名につき 1 枚とし、必ず記名すること。
- (3) チームスタッフADは 1 団体 1 枚の基本ADに加え、出場選手 5 名につき 1 枚追加できる。ただし、基本ADと合わせて合計 5 枚を上限とする。
- (4) チームスタッフADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止する。
- (5) ADカードは記名されている選手またはチームスタッフ専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携行すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。（折らずに収納できるサイズを使用すること）
- (8) 出場最終日の退場時にADカードを退場受付に提出すること。大会終了後にADカード提出を確認できない選手の記録は抹消する。
- (10) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。不正発行および不正使用を確認した場合は、当該団体を退場処分とする。
- (11) 第 1 部に参加した選手（女子 800m 自由形、男子 1500m 自由形）、チームスタッフが第 2 部にも参加する場合、第 1 部の際は【第 1 部用ADカード】、第 2 部の際は【第 2 部用ADカード】に必要な事項を記入の上携行すること。

5 入退場について

- (1) 大会期間中（第 1 部 5 月 6～7 日、第 2 部 5 月 13～14 日）は、7 時 15 分に開場しチームスタッフ（各団体 1 名）、選手、その他の順で入場する。
(注意) 必要以上に早く来場しないこと。
入場を待つ間はマスクを着用し、密集しないよう対人距離を保つこと。
- (2) 入退場は、（別紙「会場図」を参照）
- (3) 出場最終日の退場時にADカードを出入口の会場係に提出すること。
- (4) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。
- (5) 一般観覧については、（公財）東京都水泳協会のホームページ 競技会の観覧について を確認すること

6 スタンド・控え場所について

- (1) スタンド座席表・控え場所等については、(別紙「会場図」)を参照すること。
- (2) 競技終了後、4階の控え場所はそのままで良い(ゴミを拾い、整理整頓してあることが条件)。2階・3階のスタンドの荷物はすべて2階通路にある車椅子観覧スペースに置いていくことは許可する(上記以外の場所にあるすべての荷物は、忘れ物として対応する)
- (3) メインプール更衣室は更衣のみとし、ロッカーの使用はできない。なお、荷物を放置しないこと。
- (4) サブプール及びサブプールの更衣室は使用できない。

7 プールの使用について ※混雑状況によって変更する場合がありますので、当日は係員の指示に従うこと

(1) メインプール

- ① **水深3m**、水温 27.0 度±1 に設定する。
- ② ウォーミングアップは、競技開始 15 分前までとする。(当日の通告にする案内をよく確認する)
- ③ ウォーミングアップ時の **10レーンはスタート側からのダッシュレーンとする。** 代理人による順番待ちは禁止する。また、**1レーンはペースレーンとする。**
- ④ 公式スタート練習は人数や混み具合によって主催者が判断し通告にて案内する。利用人数によりレーンを増やす場合がある。
- ⑤ パドル・コード類の使用は禁止する。
- ⑥ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。
- ⑦ 練習中はホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(2) ダイビングプール(サブプールは使用出来ない)

レース前のウォーミングアッププール・レース後のクールダウンとしての使用出来る。

- ⑧ **水深5m**、水温 27.0 度±1 に設定する。
レイアウト等は、(別紙「プールレイアウト」)を参照すること。
- ⑨ パドル、コードの使用を禁止する。
- ⑩ ビート版、プルブイの使用は許可する。
- ⑪ 競技中を除き、ホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

8 監督者会議について

監督者会議は行わない。

9 感染症拡大予防について

- (1) 感染症予防ガイドラインに従い大会運営する。
- (2) ガイドラインに従わない場合、また大会関係者の指示に従わない場合は退場処分とする。
- (3) 大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。
- (4) なるべく泳ぐ以外時はマスクを着用すること。

10 配信について(予定)

YouTube「かわずちゃんねる」にて配信を行う。

<https://www.youtube.com/channel/UCKXDgeqAtqJwupKbIJStFKQ>

11 競技結果(速報)および決勝のスタートリストについて

- (1) 会場内で競技結果の貼り出しは行わない。
- (2) 競技終了後、速やかに本協会ホームページ、イトマン速報ページに公開する。

東京都水泳協会 ホームページ URL : <https://tokyo-swim.org/>

イトマン速報ページ URL : https://www.itoman.com/event/itoman_open/

12 大会参加にあたっての同意事項について

- (1) 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を遵守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。
- (2) 新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる場合には参加を辞退すること。また、主催者から大会の欠場要請があった場合はそれに従うこと。
- (3) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。
- (4) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消しとなった場合でも申込金は返金しない。
- (5) 競技会に関しての変更点や中止等の情報はホームページに掲載する。随時確認すること。
- (6) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

13 その他

- (1) 熱中症に注意すること。
 - ① こまめな水分補給を心掛けること。
 - ② ペットボトル、水筒などは専用のものを使用し、他者と共有しないこと。
- (2) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。(更衣室内は室内履きも履かないで入室すること)
- (3) レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップザック等に入れて管理すること。商標登録に注意すること。
- (4) 忘れ物は、2階選手・コーチ出入口付近(スタンド側)にて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- (5) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (6) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (7) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (8) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあり、密にもなるので避けること。
- (9) 東京アクアティクスセンター前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。保護者・一般観覧者は第1・第2駐車場を利用すること。(東京アクアティクスセンターの駐車場は利用出来ない)

14 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 03-5422-6147 (平日 10時~17時)
大会当日の連絡先 03-5534-6388 (大会当日のみ)